



太陽に向かって

長引く夏風邪にご用心！！どんな症状？？

夏風邪の主な症状

- ・高熱、のどの痛み、せき、おう吐・下痢、目やに（眼脂）、発疹 などが続く
- ・手足口病（足裏や口の中に発疹や水疱）
- ・ヘルパンギーナ
（高熱と喉に水疱ができる）



（参考）冬風邪の主な症状
鼻水、鼻づまり、のどの痛み、
せき、発熱、倦怠感 など



元気いっぱいのひまわり



たけおか新聞



第22号

7月に入りました。梅雨も雨は比較的少ないものの、気候は変化しやすく高温・多湿で、過ごしにくい日が続きますね。

さて、皆さんは、『夏風邪』ってご存じですか？風邪というと冬にかかりやすいと思われがちですが、実は夏でもかかります。

冬の風邪は、低温で乾燥した空気などの条件でウイルスや細菌に感染してかかります。夏の風邪は、一般的にウイルス感染で起こることが多いです。夏風邪のウイルスは、高温・多湿の条件を好むため、梅雨時期から夏にかけて注意が必要です。

よく耳にするのが、『夏風邪って長引くんだよね』という声。

夏は、暑さなどで食欲がなくなり、体力が奪われ、免疫力が落ちてしまうのでウイルスを退治するのに時間がかかります。そのため、夏風邪は治りにくいといわれています。症状があれば早めに受診をして下さいね。

病院スタッフ紹介



当院のリハビリテーション科で勤務している理学療法士の入部健次郎さんは、江北中学校の野球部の外部コーチとして院外活動もしています。

主な活動内容は、練習の補助や選手へのアドバイス、試合ではトレーナー兼ベンチコーチとして携わっています。選手へのアドバイスは技術だけではなく、リハビリの知識を生かしたケガ予防のストレッチやパフォーマンス向上の為の指導も行っています。

また、熱中症や選手の痛みやケガの対応など医療職としても活躍しています。このような地域貢献に通じる活動は病院の理念追及にも繋がります。今後も地域のために頑張っていたきたいですね。



時には優しく、時には厳しく接しています



グラウンドで少年達と共に汗を流しています